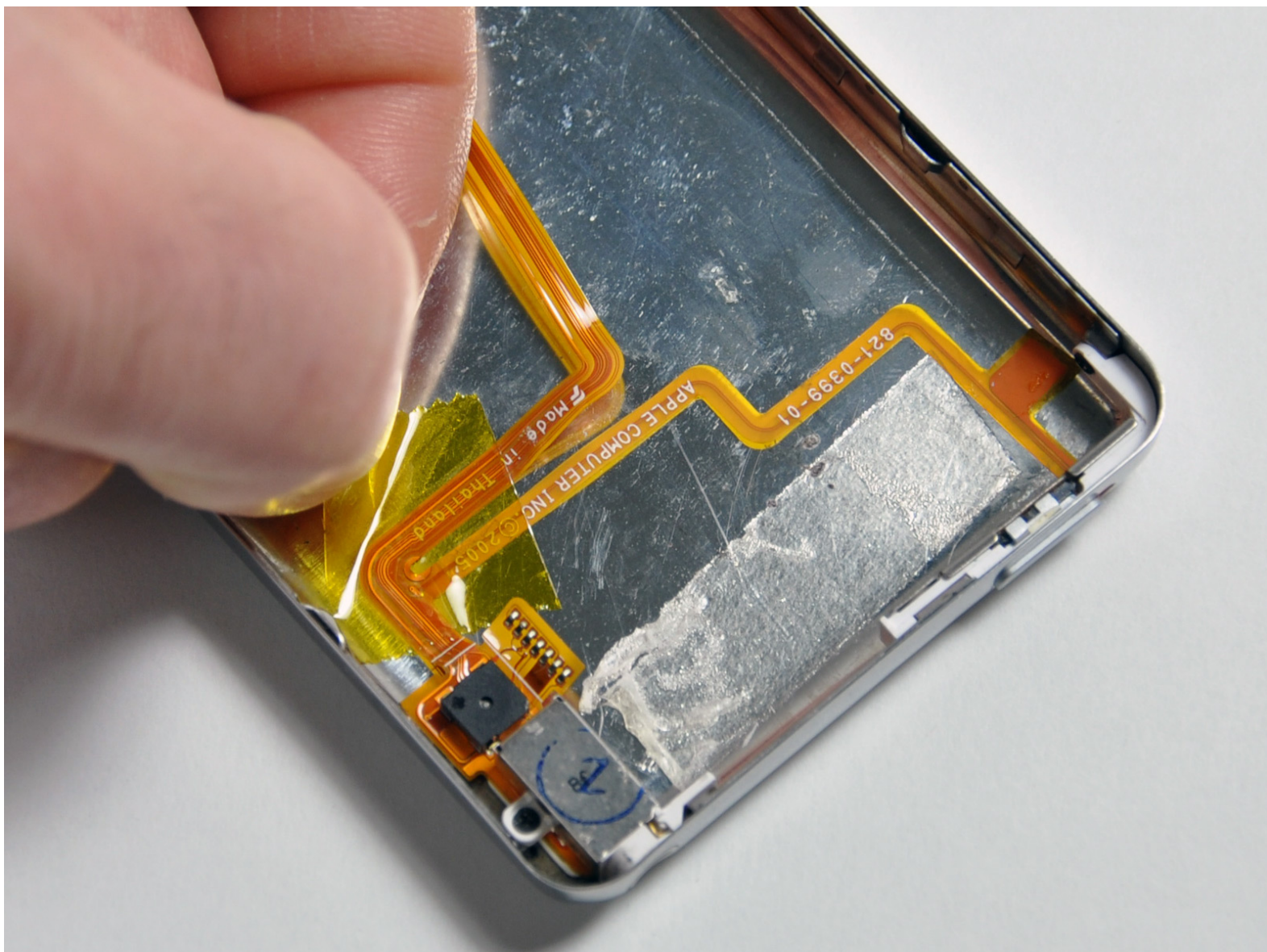




iPod 第5世代(Video) ヘッドホンジャックとホールドスイッチの交換

このガイドを参照して、iPod 第5世代(Video)...

作成者: Miroslav Djuric



はじめに

このガイドを参照して、iPod 第5世代(Video) ヘッドホンジャックとホールドスイッチを交換します。



ツール:

- iFixit開口ツール (1)
- プラススクリュードライバー(#00) (1)



部品:

- iPod Video 30 GB Headphone Jack & Hold Switch (1)
- iPod Video 60/80 GB Headphone Jack & Hold Switch (1)

手順 1 — ケース



- ① iPodを開口する前に、ホールドスイッチがロックされているか確認してください。iPodを手前に置いて、スライダーは右側に完全に移動しているか確認します。

手順 2



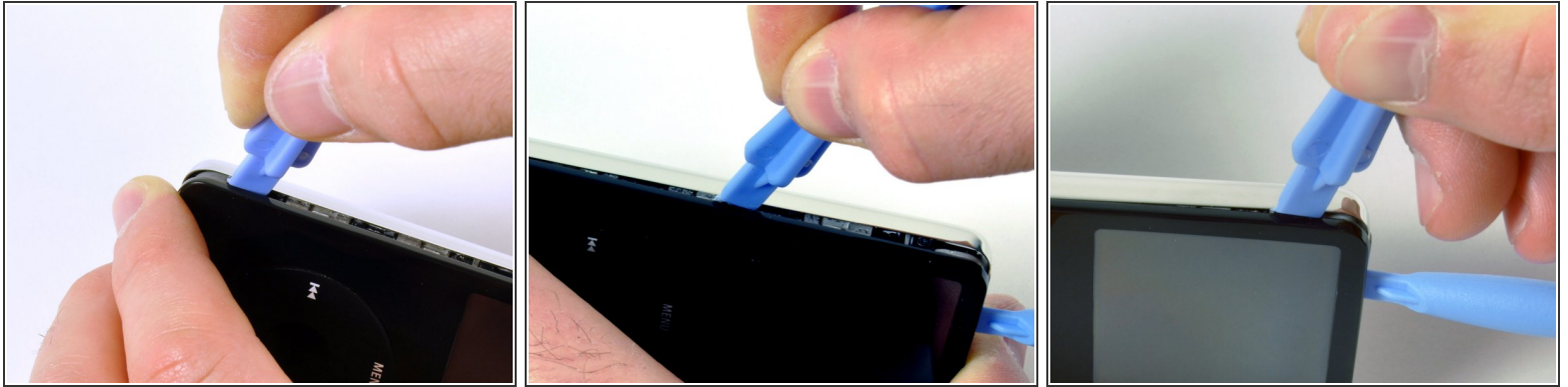
- ① iPodの開口はチャレンジです。数回試したところで、iPod本体が開く前に諦めないようにしましょう。
- 開口ツールを使って、iPodの下部にある固定クリップを外します。ツールの先端をメタル製のバックケース側に向けてください。プラスチックのフロント側に傷が入らないようにご注意ください。

手順 3



- 開いた状態のiPodの画像を参考にして、固定クリップがどこに付いているか確認してください。両側に4つ、上部に1つ、下部に2つあります。プラスチックカバーを傷つけないように役立つ情報です。

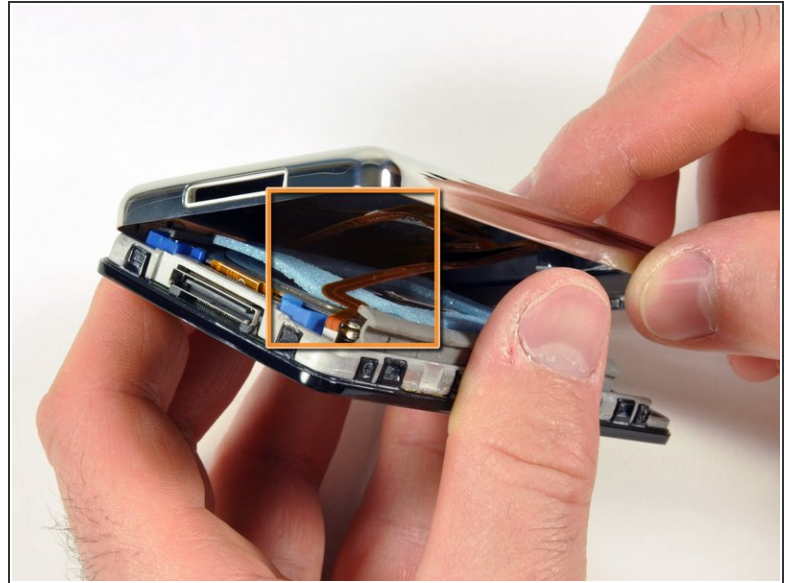
手順 4



i iPod両側に4つの固定クリップが付いています。iPod開口ツールを使って、iPodメタル背面から前面のプラスチックを分離します。

- iPod開口ツールをiPod左側に挿入し、ツールの先端をメタル背面側に向けます。
- 小さなギターピックなどは、iPodを開口するのに非常に役立ちます。ピックを差し込んだら、ケース周辺にスライドさせるだけで、クリップが外れて、作業が簡単になります。
- 開口ツールを左右に小刻みに動かして、左側に移動すると、隙間がわずかに拡大します。
- iPodの端全体が緩むまで作業を続けます。
- 次に開口ツールをホールドボタンの右側に挿入します。ディスプレイは非常に壊れやすいため、ツールを挿入する際は十分に注意してください。

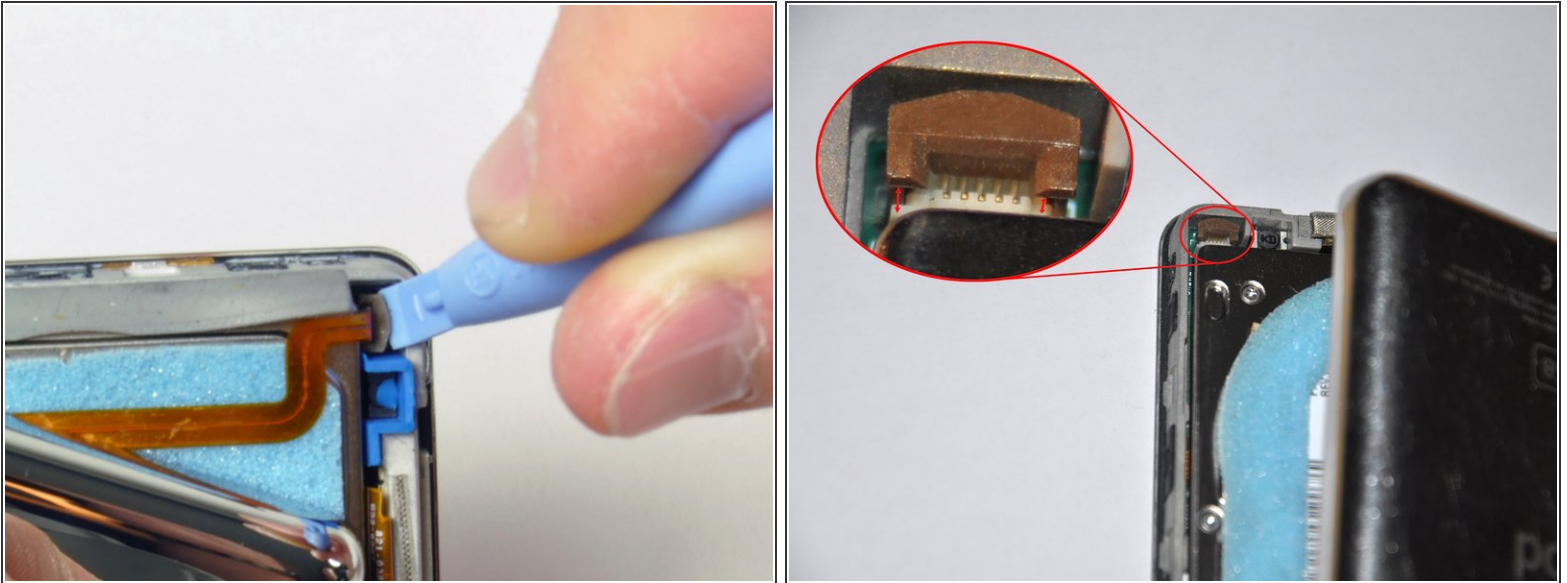
手順 5



- ディスプレイ上部に開口ツールをゆっくりとスライドし、固定クリップを外します。
- これで、iPodの反対側が簡単に緩むはずです。 そうでない場合は、iPod左側と同じようにiPod右側に開口ツールを差し込んでください。
- iPod前面を背面から約2センチ程度、離します。

⚠ iPodのケーシングが開きますが、まだ両側を完全に分離しないでください。 2本のリボンケーブルが背面パネルとiPod本体に繋がっています。

手順 6



- 角度のついたピンセットまたはiPod用オープニングツールで、オレンジ色のバッテリーリボンケーブルを固定している茶色のコネクタラッチを上にもスライドさせます。このとき、ラッチの両側から引っ張るようにしてください。茶色のコネクタラッチを1〜2mmほど持ち上げればケーブルは外れます。それ以上持ち上げたり、ラッチを外したりすると、白いコネクタも一緒に引っ張ってしまう可能性があります。

⚠️ あまり持ち上げすぎると、ロジックボードからバッテリーコネクタを引き抜いてしまう可能性があります。

⚠️ 茶色のコネクタは必ず真上にスライドさせてください。コネクタはデリケートで、横にずらすと壊れてしまいます。コネクタの下部にはケーブルを固定するためのフックがあります。片方のアームが折れると、すぐにバッテリーケーブルを元に戻すことができなくなります。もし折れてしまったら、ケーブルをスロットに入れてから、茶色のホルダーを押してケーブルが滑り落ちないようにします。

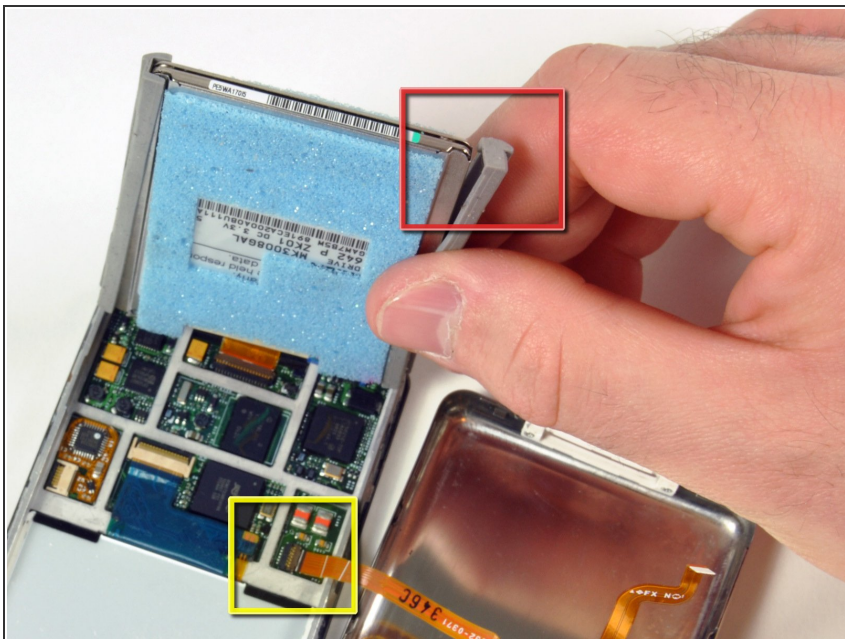
- コネクタからケーブルを外します。

手順 7



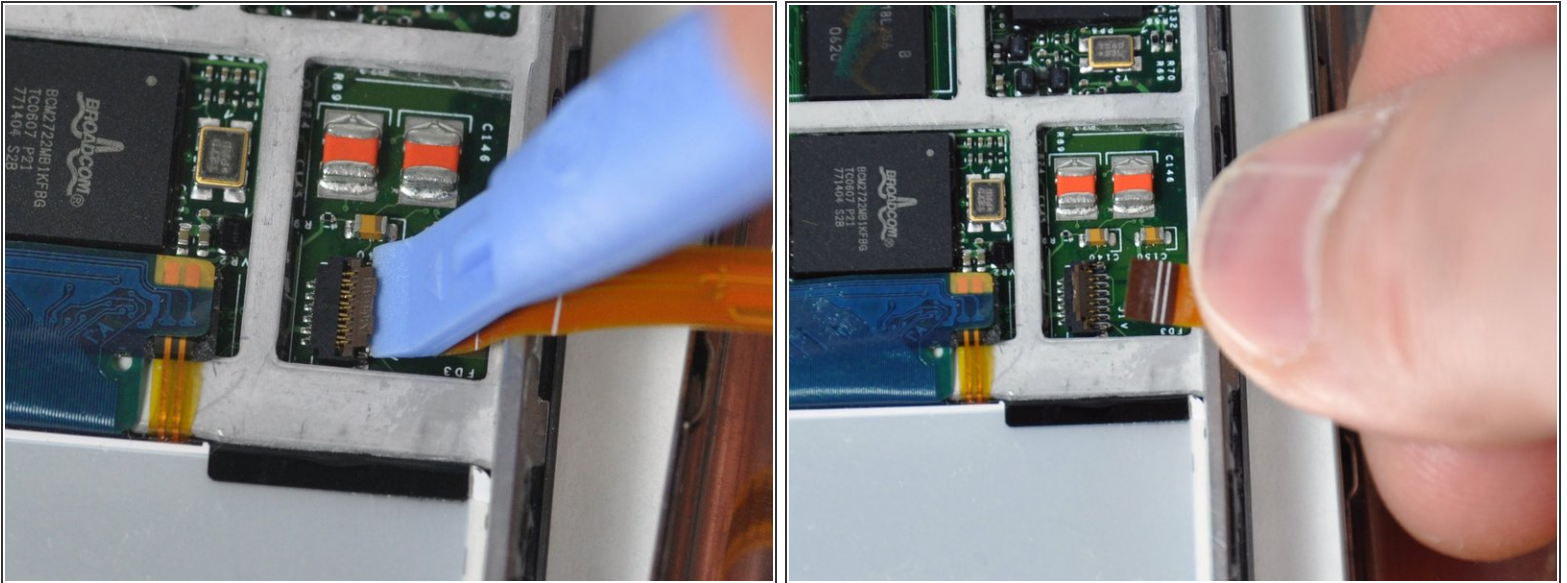
- これで、フロントケースとバックケースをつなぐオレンジ色のリボンケーブルが1本残りました。
- この時点で、青いゴムバンパーを取り外して交換するか、ケースを分離して続けることができます。
- ① ケースを分離することは、バッテリー交換を完了するために必要ではありませんが、交換を容易にすることができます。ただし、さらに余分なケーブルを取り外す必要があり、取り外しの際に破損する危険性があります。

手順 8



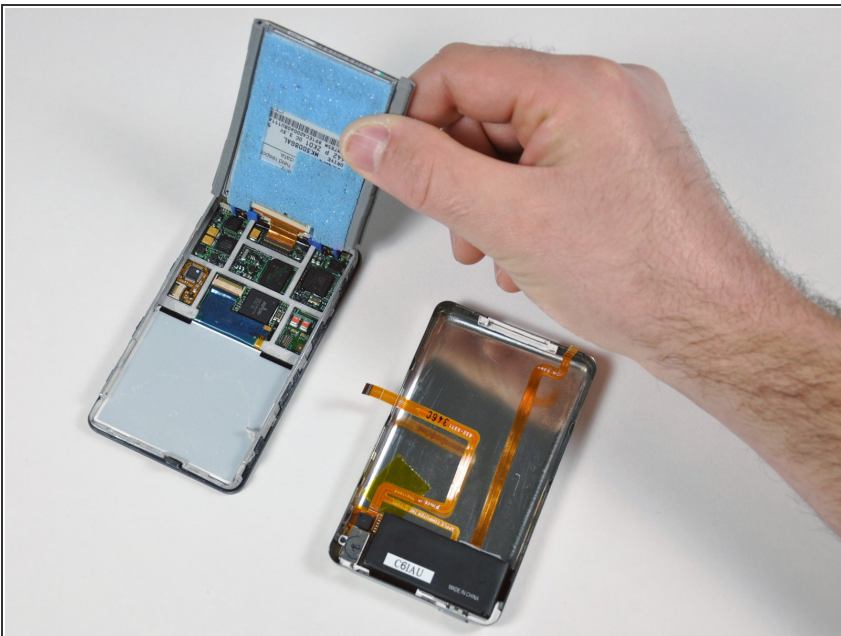
- ハードドライブを持ち上げて、ヘッドホンジャックリボンコネクタ（黄色のボックスで表示）を露出させます。
- ① ハードディスクのバンパーが緩んだ場合は、写真のように切り欠きがある状態で元に戻してください。

手順 9



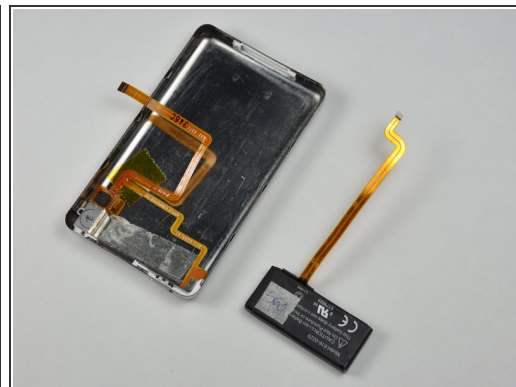
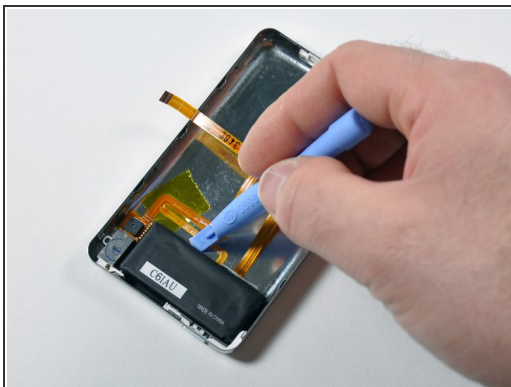
- iPodオープニングツールで、ヘッドホンリボンケーブルコネクタの茶色のタブをゆっくりと持ち上げます。タブが90度回転し、リボンケーブルが外れます。
- 指先を使って、ヘッドホンジャックのリボンケーブルを引き抜きます。

手順 10



- これでiPodの表と裏が完全に分離されたはずです。

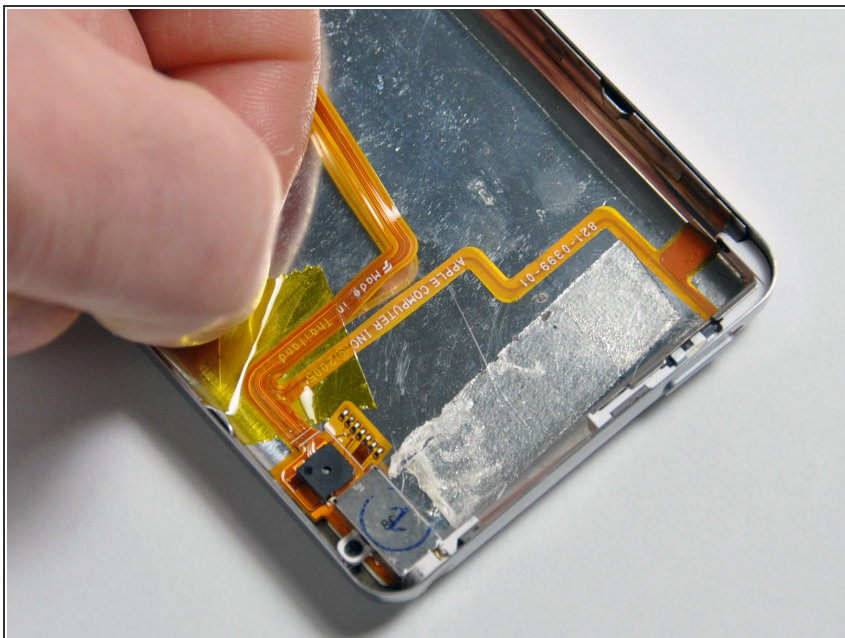
手順 11 — バッテリー



⚠ この手順を参照しながら作業を進める際は、ヘッドホンもしくはバッテリーのリボンケーブルのいずれかも破損しないようにご注意ください。

- iPodの開口ツールを、画像にあるようにメタルケースとバッテリーの間に差し込みます。
- 慎重に左右にツールを揺らしながら、バッテリーと背面ケースの間の奥に差し込みます。バッテリーを固定している接着剤が剥がれてきたら、リアパネルからバッテリーを取り出してください。

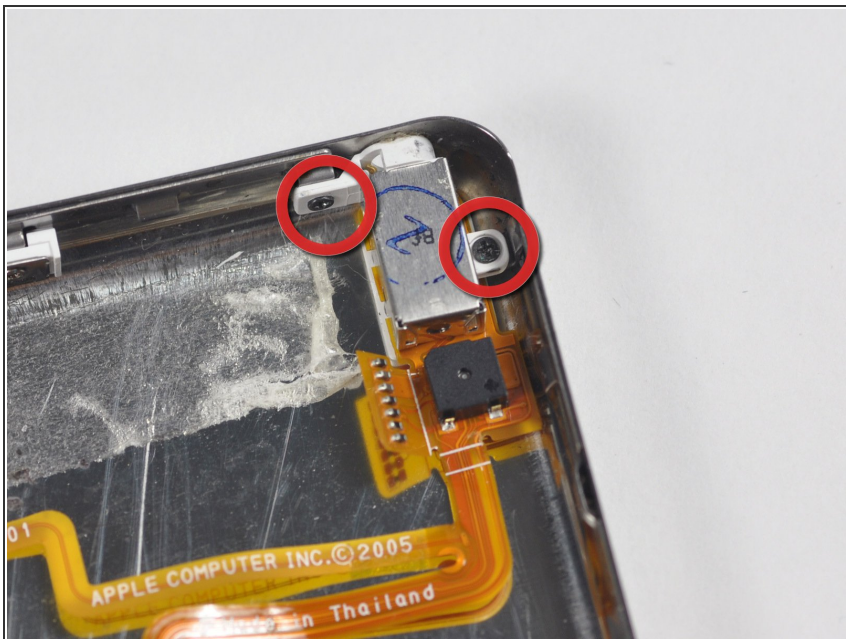
手順 12 — ヘッドホンジャックとホールドスイッチ



⚠ オレンジ色のリボンケーブルは折れやすいので、十分注意して作業してください。

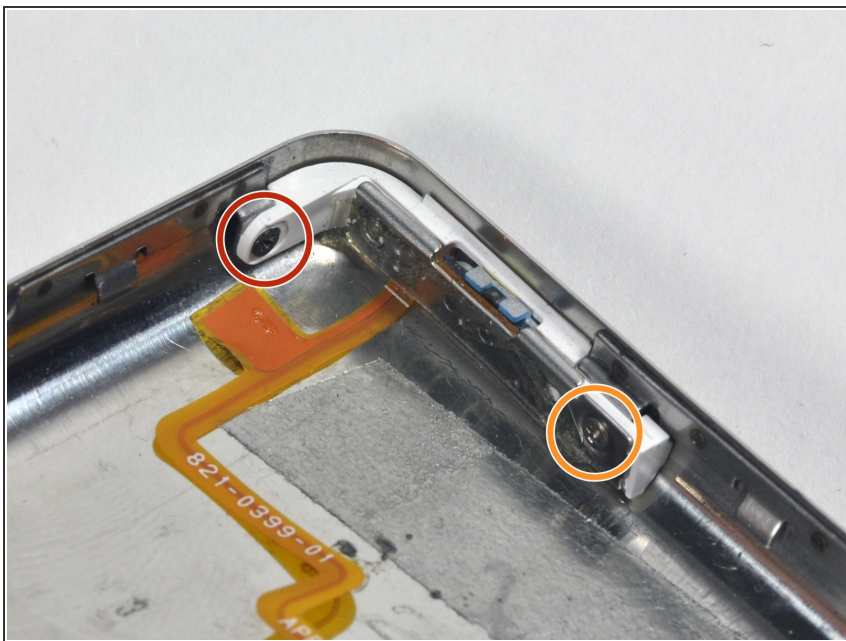
- リボンケーブルを固定しているテープをはがします。

手順 13



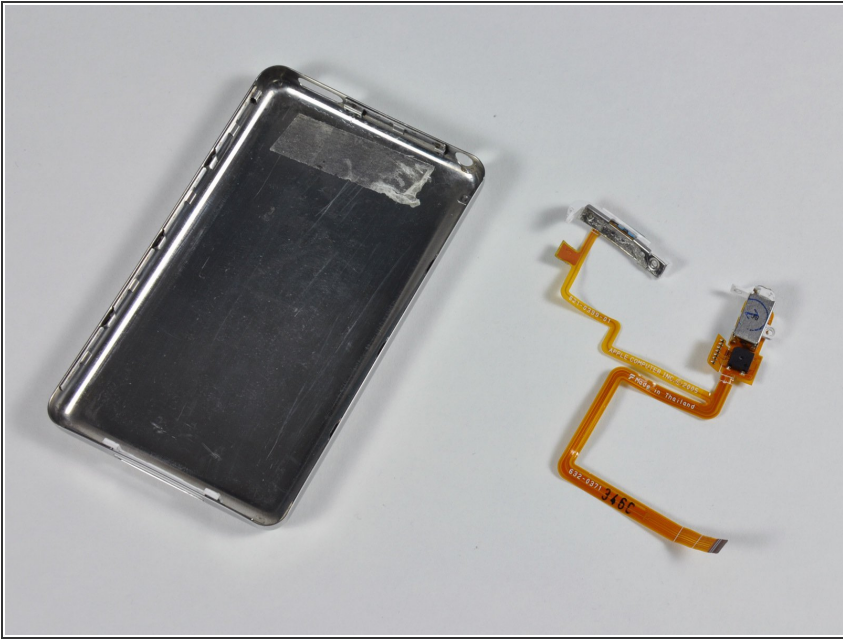
- ヘッドホンジャックを下部ケーシングに固定している2本の黒いプラスネジを外します。

手順 14



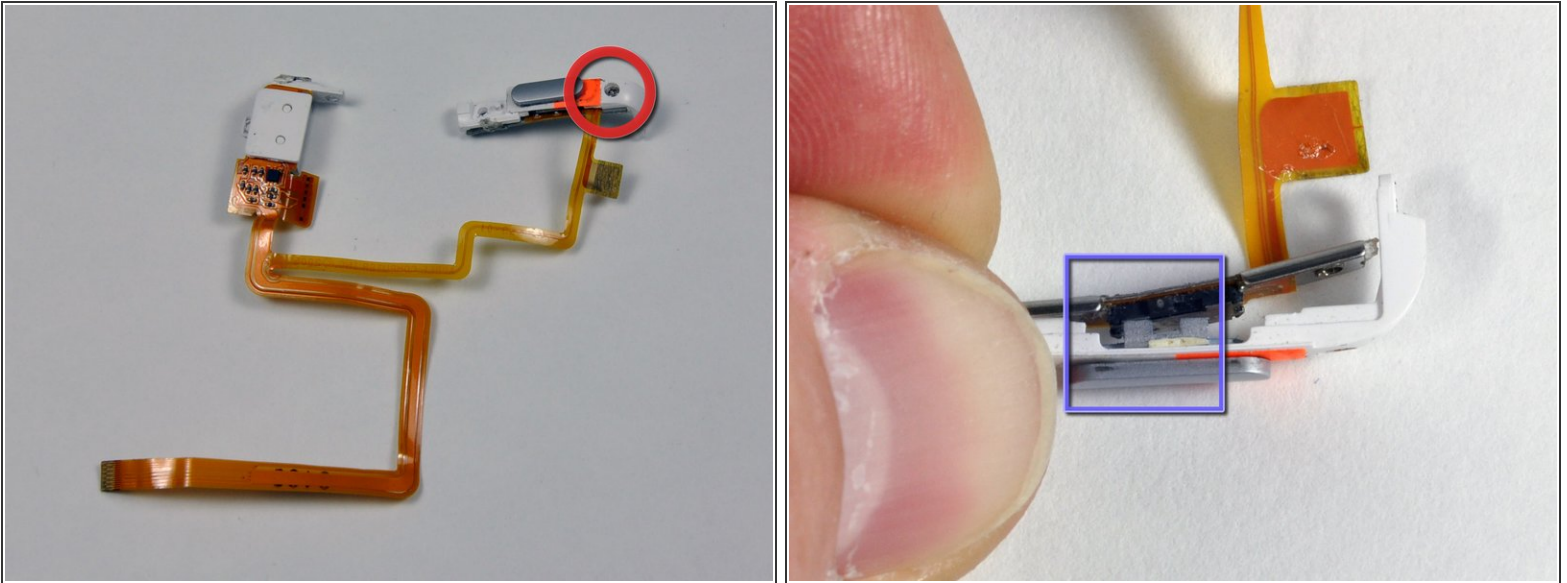
- 次の2本のネジを外します。
- iPodのコーナー付近でホールドスイッチを固定している黒いプラスネジ1本。
- ホールドスイッチの反対側を固定している銀色のプラスネジ1本。
- ① 補足 : iPodを再組み立てする際、ドライバーの先に白いエルマーの接着剤をつけておくと、この小さなネジをドライバーに固定し、ねじ込みやすくすることができます。

手順 15



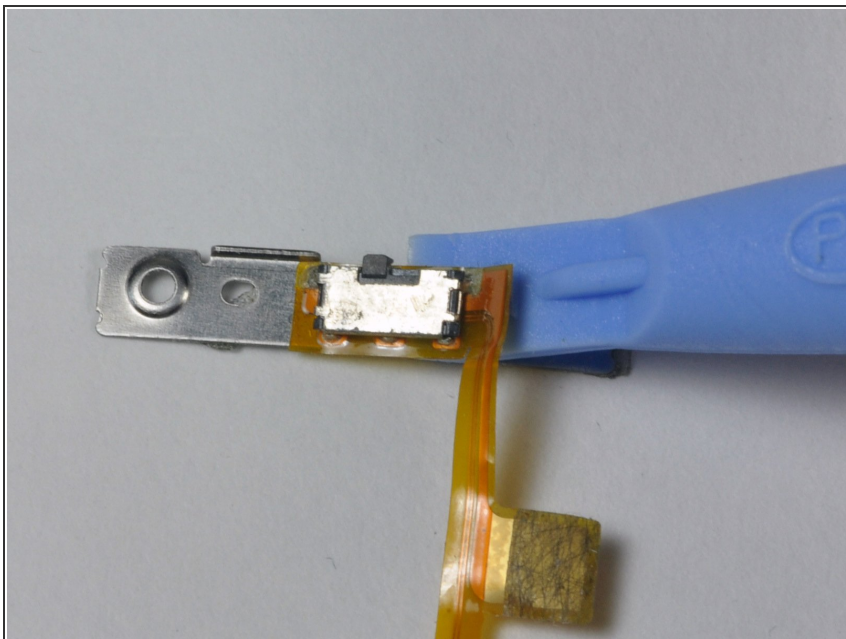
- リアパネルのハウジングからホールドスイッチを持ち上げます。
 - ヘッドホンジャックをリアパネルのハウジングからスライドします。
 - ヘッドホンジャックとホールドスイッチのアセンブリを持ち上げて、iPodから取り出します。
- ① バックパネル交換のためにホールドスイッチとヘッドホンジャックを取り外す場合は、ここで作業を止めても構いません。

手順 16



- ① 交換用ヘッドホンジャックに白いプラスチック製ホールドスイッチが含まれている場合は、ヘッドホンジャックを再装着するだけです。交換パーツにプラスチック製のホールドスイッチが含まれていない場合は、次の手順でプラスチック製のホールドスイッチを新しいヘッドホンジャックに移植してください。
- ① リアパネルを取り外すだけなら、手順15と16はスキップすることができます。
 - ホールドスイッチに一番近いプラスネジ1本を外します。注意：ネジの裏側に接着剤が付着している場合があります。
 - ホールドスイッチのプラスチック部分を持ち上げて、オレンジ色のリボンケーブルから離します。
- ☑ スイッチを再組み立てする際、黒い切り欠きがグレーのスライダーと並行していることを確認してください（写真2参照）。

手順 17



- 小型のiPod用オープニングツールで、オレンジ色のリボンケーブルと付属の黒いホールドスイッチをメタルの裏側から慎重にはがします。
- ★ 交換用のホールドスイッチを再度取り付ける際は、スイッチの背面にある2つの小さな支柱が、メタル台紙の2つの穴と位置が合わさっていることを確認してください。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。